

シリーズパソコン周辺機器 ⑫

「最近のパソコン事情 ①」

宮杉 浩

一昔前まで、色々と家電を揃えようと考えたとき「やっぱりテレビは必要、録画できるビデオも欲しい。それに音楽好きだし、CD聞きたいからミニコンボも欲しい、家でもインターネットしたいし、レポートも作成しなければいけないからパソコンも買わないと・・・。」ということで全部揃えるにはかなりの出費がかかり、快適な生活を送るための悩みの種となっていました。ところが近年パソコンの急激な進化がその悩みを解消しつつあるようです。今回はそんな最近のパソコン事情についてお話ししたいと思います。

特に充実ぶりが目立つのがデスクトップパソコンです。まずTVチューナー搭載モデルが増えました。これによりパソコンでテレビを見ることができ、ハードディスクに録画ができるようにまできています。しかも2011年から始まる地上波デジタル放送対応のチューナーですから、今後買換の心配もいりません。液晶ディスプレイも以前と比べものにならないくらい画質が向上し、しかも19インチや21インチと大型化しています。以前の主流は15インチや17インチで、DVDをパソコンで見る時やはり画面の大きさに物足りなさを感じずにはいらませんでした。DVDにしても様々なフォーマットに対応したマルチドライブが当たり前で上位機種になるとブルーレイディスクドライブが搭載されています。音楽を聴くことも最近はパソコンにCDやネット配信で曲をダウンロードするのが主流ですし、もはやパソコン一台あれば全てまかなえると言っても過言ではないでしょう。もちろんこれほど色々な事がこなせるにはCPU、メモリ、ハードディスクというパソコン自体のスペックが高くないと駄目なのですが、CPUはデュアルコアが主流となりました。以前はシングルコアが主流で複数の作業を一度にこなすにはどうしても動作的につらかったのですが、デュアルコアでは2つの処理が同時にできるので、処理速度が格段に向上しました。最近では4コアCPUを搭載したパソコンも登場しています。メモリもギガバイトサイズが当たり前、ハードディスクも数百ギガバイト搭載と一昔前までなら家庭用では考えられなかったスペックになっているのです。そのようなパソコンの上位機種が20万円前後で買え、標準的なモデルでも15万円も出せば購入できるのでから価格的なものも含めいかにパソコンが一般家電化してきたかを痛感させられます。

パソコンの一般家電への進化はテレビは大画面液晶、AVコンボは本格指向の高級アンプ・スピーカしかその存在価値を見いだせなくなってしまうのではないかとさえ思えてしまいます。急速に性能と利便性が向上したデスクトップパソコンは用途、価格もものすごく選択肢が増えましたので、皆さんも自分にあったパソコンを選んで充実したパソコンライフを過ごして欲しいと思います。次回は今回お話しできなかったノートパソコン事情についてお話ししたいと思います。

みやすぎ ひろし (係長補佐・管理運営課)